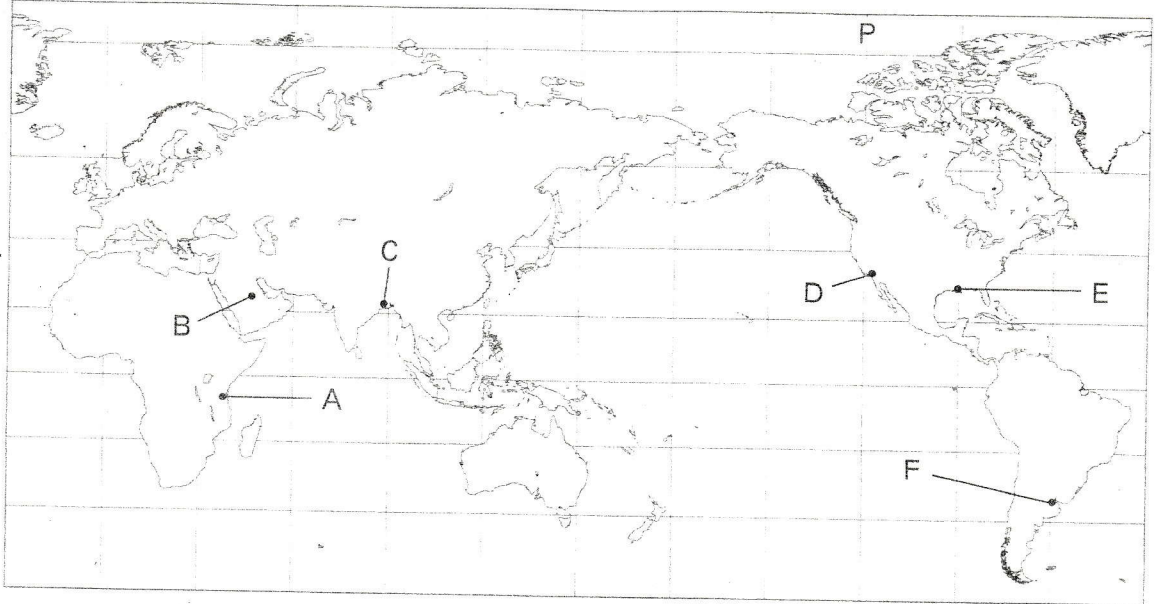


1. 図1を見て、あとの問いに答えなさい。

図1

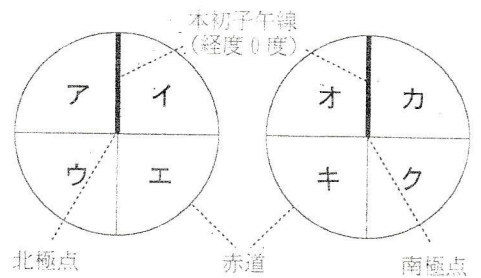


(緯線は20度、経線は30度間隔で描かれている)

(1) ユーラシア大陸の南部には、ヨーロッパからアジアにかけて高く
 けわしい山脈がつらなる造山帯がある。この造山帯の名称を
 書きなさい。 (アルプス = ヒマラヤ造山帯)

(2) 図2は円の中心をそれぞれ北極点
 と南極点とし、円周を赤道として
 北半球と南半球をあらわした図で
 ある。北半球と南半球をそれぞれ
 経線によって均等に4分割したとき、
 図1中の各都市Aが位置する範囲
 として適切なものを、図2中のア〜ク
 から一つ選んで、その符号を書きなさい。

図2



(カ)



Aは アフリカ中央部よりも南にあるので、南半球と
 なり、右の円の南極点を中心として オ〜クの いずれかに
 なる。

図1は、経線は30度間隔で描かれていると注釈にあり、
 Aの位置は 本初子午線 から 右(東)へ 30度くらい いった
 ところに位置しているのだから カにあてはまる。